

「FTAS」を活用した生成AI活用モデル

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 福井県では、福井県観光連盟が長年にわたりDMP「FTAS」へ予約情報やアンケートデータ等を蓄積しており、価値のあるデータが豊富に存在している。
- ・ しかし、ノウハウや人手の不足から、事業者においてDMP活用による施策検討に至っておらず、収益拡大に結びついていない。また、旅行者においては、地域サイト上で目的の情報に辿り着けず、利便性が低い状況である。
- ・ これらの課題に対し、事業者に向けては、データ活用の専門的な示唆を得られる自動コンサルティングAIによる業務効率化と人材育成に取り組む。旅行者に向けては、検索不要、多言語対応の提案型ガイドAIを提供することで、利便性向上を図る。
- ・ 本実証を通じて、地域全体の消費拡大と持続可能な観光経営の基盤づくりを目指す。

事業概要

福井県内の観光事業者が蓄積してきた予約情報やアンケート結果を活用し、生成AIの自動コンサルティングによるマーケティング支援を実施することで、事業者の業務効率化と収益向上を図る。また、旅行者向けには生成AIを活用した検索不要、多言語対応の提案型ガイドを導入し、地域サイト上の情報を旅行者の趣味嗜好に応じて最適化し、利便性向上を図る。これらを同時に実現することで、先端的な観光DXモデルを確立する。

取組地域： 福井県

コンソーシアム名： 福井県観光DXコンソーシアム

代表事業者： ふくいヒトモノデザイン株式会社

実証内容

1. 業種別の業務工程整理による生成AI活用効果領域の特定
2. 県内事業者の売上拡大と業務効率化に向けた自動コンサルティングAIの整備
3. 周遊促進と消費拡大に向けた地域サイトへの提案型ガイドAIの整備

目標値

- KGI①** 自動コンサルティングAI利用事業者の労働時間削減数(推定1,350時間)
- KPI①** 自動コンサルティングAI登録事業者数(100人)
- KGI②** 提案型ガイドAI経由での旅行消費額(推定8,431,200円)
- KPI②** 提案型ガイドAIのチャットユーザー数(延べ1万人)

